

インパクト志向金融宣言

第8回ワーキングレベル会合

2023年10月25日09:30～11:30
オンライン・リアル同時開催

インパクト志向金融宣言
Japan Impact-driven Financing Initiative

本日のアジェンダ

- | | |
|--|-------------|
| 1. 新規署名機関の紹介 | 9:30～9:45 |
| 2. (決議) 運営規程の説明・議論・議決 | 9:45～9:50 |
| 3. (報告) ELT | 9:50～9:52 |
| 4. (報告) GIINフォーラム | 9:52～10:00 |
| 5. コンソーシアムの設立状況 | 10:00～10:05 |
| 6. 分科会/企画活動紹介(4+2)
※融資・債券分科会立ち上げアナウンス | 10:05～10:30 |
| 7. 自走化PTからの報告 | 10:30～10:40 |
| 8. 議論 | 10:40～11:25 |
| 9. 今後の予定、事務局連絡 | 11:25～11:30 |

(名刺交換会) 11:30～12:00

1. 新規署名機関の紹介

- 署名機関数は67社へ（署名金融機関64社、署名協力機関3社）

署名日	署名金融機関	署名協力機関
8月1日付	株式会社肥後銀行、肥後銀行企業年金基金 肥銀キャピタル株式会社 九州みらいインベストメント株式会社	-
	カディラキャピタルマネジメント株式会社	
	SIIFインパクトキャピタル株式会社	
	株式会社ベンチャーラボインベストメント	
9月1日付	-	CSRデザイン環境投資顧問株式会社
10月1日付	ファンズ株式会社	株式会社日本総合研究所
	Hash DasH株式会社	株式会社格付投資情報センター(R&I)
11月1日（予定）	ON & BOARD株式会社	

2. (決議) 運営規程の説明・議論・議決

- 別添資料「[20231016_（説明資料）運営規程について](#)」を参照
- 本日決議の上、[試行的導入](#)を開始したい。

3. ELT: Annual Executive Leadership Teamの報告

- 11月2日に第1回ELT企画イベントを実施予定

2021年11月に21機関の金融機関が署名しインパクト志向金融宣言が立ち上りました。このイニシアティブは、金融機関の経営トップ自らが署名し、各機関がインパクト志向の金融とインパクトファイナンスの質的・量的拡大を推進するものです。2023年10月時点で署名機関が67に拡大し、海外ゲストを招いたウェビナーを通じた学びや、分科会を通じて実務者レベルの議論も活発化しています。

発足後2カ年が経過した現在、署名金融機関の代表者3名にお集まりいただき、「署名機関トップに聞く！『インパクト志向金融経営』」と宣言の現在地と称し、自社のインパクト志向金融経営に向けた活動や、インパクト志向金融宣言の現在地に関する評価、そして、今後への期待を、経営トップの目線で語っていただきます。

- ◆ 主催：インパクト志向金融宣言
- ◆ 日時：2023年11月2日(木)13:45～15:15
- ◆ 場所：官民共創HUB
- ◆ 形式：ハイブリッド（リアル参加最大50名、オンライン最大100名）
- ◆ 申し込み：<https://peatix.com/event/3724813/view> より

ご登壇者：

- ◆ [三井住友トラストホールディングス株式会社](#) 取締役執行役社長 高倉 透様
- ◆ [日本生命保険相互会社](#) 代表取締役社長 社長執行役員 清水 博様
- ◆ [株式会社大和証券グループ本社](#) 取締役 兼執行役副社長 田代桂子様
(司会者 事務局小笠原由佳)

座談会内容：

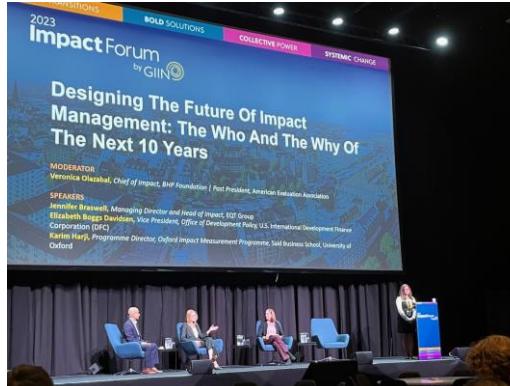
- ◆ これまでのインパクト志向金融宣言の活動に対する評価
- ◆ 自社のインパクトファイナンスにかかる取り組みについて
- ◆ 今後の志向宣言の活動への期待

4. GIIN Impact Forum の報告

(10/4-10/5 コペンハーゲン <https://www.impactinvestorforum.org/sessions/>)

【全体感】

- ・コロナ明け後2回目の年次フォーラム（昨年はハーグで開催）
- ・参加者数1,500人（主催者発表）
- ・今年度よりスポンサーセッション中心の開催（以下、2日間での累計回数）
 - プレナリー(9)
 - Side Eventは（参加者スポンサー企画のテーマ討議:18）
 - Solutions Session（参加者スポンサー企画のショートピッチ:14）
 - GIIN企画セッション(8)
- ・テーマの重心が、社会課題（含むグローバルサウス）から、気候変動・生物多様性に
- ・日本からの参加者は、前年より大幅に多い約25名（IDFI関係者約15名、その他10名（金融庁含む）



GIIN Impact Forum 日本からの参加者

インパクト志向金融宣言(IDFI)関係者

みずほフィナンシャルグループ#

三井住友信託銀行

環境エネルギー投資

かんぽ生命

住友生命

農林中央金庫

カディラキャピタルマネジメント

クレディセゾン

GLIN Impact Capital # * , SIIIF, SIMI *

(*IDFI運営委員、*IDFI海外連携企画担当)

IDFI関係者以外

三井住友トラスト・アセット・マネジメント

三井住友DSアセット・マネジメント

日本生命 Global Investors Europe

JBIC

&Capital

アドバンテスト／インパクトデザインオフィス

自然電力

金融庁

4. GIIN Impact Forum の報告

[IDFI活動]

- **GIIN- Japan Delegation顔合わせ（10/5）** ※Chief Investor Networking Officer

-先方：GIIN CEO Amit Bouri 氏、CINO※ Sean Gilbert 氏

-当方：IDFIメンバー含むJapan Delegation20名程度が参加

- 自己紹介後に、FSA長谷部氏より、岸田首長のPRI in Personでのコメントをベースにプレゼン（課題解決へのインパクトに着目した官民コンソ設立、投資を通じた社会課題解決とFDとの平仄、公的年金のPRI署名など）

- **IDFI-GIIN連携議論（10/5）**

-先方：Sean Gilbert 氏、Director of Membership Naoko Kimura 氏

-当方：今田、末吉、中村

- GIIN-IDFI の今後の連携の形について、プレスト的なミーティング（GIINはGSGのような国別チャプター方式ではないことを前提に）
- 基本的には、GIINは、メンバーシップ制のビジネスモデルであり、IDFIも署名機関制であれば、2つのメンバーシップ相互関係を模索していくことはできる。IDFIの自走化を今後確立させていく過程で、GIINとの連携の考え方を更新・提案していく。
- スタートラインとして、毎年1度GIINについての紹介・告知のイベント（ウェビナーor 対面）を実施することは出来る。まずはそこから始めつつ3か月に1回か半年に1回でIDFI事務局とGIINでタッチポイントをもってより踏み込んだ連携を具体的に議論することも良い。
- IDFIとして、GIINのメンバー的な立場を確保し、メンバーシップの内部でいくつかのテーマ（例えば先進国のインパクト指標）のワーキンググループ設置などを提案することは検討できる。
- **その他：**10/2-3のGSG Global Impact Summit 参加も通じ、複数テーマでWebinarなど企画開始（ex.上場株におけるインパクト、インパクト投資算入基準の日欧比較等）



5. コンソーシアムの設立検討状況について

PRI in Tokyoの講演で岸田首相が「官民協働のインパクト投資に関するコンソーシアムを本年中に設立するなど、社会変革につながる資金調達のけん引役を果たしていく」と発言

6. 分科会/企画チーム活動紹介

分科会	座長
地域金融	金井さん、山崎さん
Social指標	松原さん、石井さん、朝野さん
VC	堤さん、秦さん
AO/AM	松本さん、安間さん

企画チーム	座長
IMM	SIMI (今田さん)
海外連携	藤井さん、中村（将）さん
定義・算入基準	事務局

※融資・債券分科会を設立予定

(参考) セミナー・イベントの実績・計画

主催/共催イベント

9月6日	済	上場株におけるインパクト投資～ GIINによる新ガイダンスの紹介GIIN Listed Equity Working Groupショーンギルバート氏	海外連携企画チーム・IMM企画チーム・SIMI
9月26日	済	Impact-Financial Integration & Investor Contributionについて (Impact Frontiers 須藤さん)	SIMI主催・IDFI共催
9月29日	済	Impact Performance Reportingについてのワークショップ (Impact Frontiers 須藤さん)	SIMI主催・IDFI共催
10月2日	済	PRI in Person (Tokyo) サイドイベント 「ESG投資からみたインパクト投資 その現在地と今後の展望」	IDFI主催
11月2日		インパクト志向金融経営への取り組みとインパクト志向金融宣言～経営トップ3者による座談会～	ELT企画
11月28日		Palladium(米国PEファンド) Carlos Reyess氏来日に合わせたイベント	海外連携企画チーム
時期未定		・60デシベル ・その他企画中イベントあり	

7. 自走化PTからの報告

別添参照

8. 自走化に関する議論

別添参照

9. 今後の予定、事務局連絡

- 今後のワーキングレベル会合

2024年 1月25日 (木)

2024年 4月 25日 (木)

- プログレスレポート

1月発表予定